

戦作上海と軍海の國戦交るな主

既 成 二	填 匈 國	合 計 二〇	既 成 一三	獨 逸	合 計 七	建 造 中 四	既 成 三	伊 國	合 計 九	弩級戰艦	巡洋戰艦	前弩級艦	一等巡洋艦	輕巡洋艦	合計
										四	六	六	一六	四一	
一	八	二〇	四	四	一	一	一	八	八	八	一八	一八	二二	二二	四一
九	九	一〇	一	二〇	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	四	一〇	六	三九	二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一八	二〇	二〇	一七	八五	四五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四

(三五三)

戰大洲歐

既 成 二	露 國	合 計 一八	建 造 中 一〇	佛 國	合 計 三四	既 成 二二	建 造 中 一三	弩級戰艦	巡洋戰艦	前弩級艦	一等巡洋艦	輕巡洋艦	合計
								一	三	三	七	一七	
七	四	一	一	一	一〇	九	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	六	一三	一	一三	三八	三八	一	一	一	一	一	一	一
六	六	一八	一	一八	三八	三八	一	一	一	一	一	一	一
八	八	二二	一	二二	八九	七二	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
一九	二二	六一	一〇	五一	二〇九	一七八	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一

(三五二)

(三五四)

建造中	二	一	一	三
合計	四	九	一	九
				二三五

### 三 交戦國双方の海軍作戦の主方針

凡そ海軍に於て最も主要なる作戦は、敵國の海軍を撃滅して制海權を獲得するに在り。然れども此の目的を達成せんには、優勢なる艦隊を有せざる可らず。今次の戦争に於て、此の理想を實施し得べきものは、獨り英國あるのみ。殊に佛國の聯合に加ふるに伊國の參加ありたるに依り、協商國の海軍は益々優勢となり、獨逸の海軍は彌々劣勢の地位に立たざる可らざるに至れり。されば協商國就中英國の海軍は、努めて速に獨逸中獨逸海軍と衝突して決戦を求め、營に本戦争中のみならず、戦後永く制海權の優越を維持せんことを

(三五五)

熱望したるべし。蓋し是れ英國の戦争に参加したる主因なるべし。乃ち英國海軍は常に攻勢を以て、敵海軍を粉碎し、絶對的海上權を掌握するを以て作戦の方針となしたり。之に反し獨逸は、縱令其の艦隊が近年長足の發展を成したるも、猶未だ英國海軍の上に出づる能はず、況んや佛國海軍の聯合あり、眞面目なる決戦に於て、到底勝算無きのみならず、一たび蹉跌せば從來の海上に注ぎたる努力は水泡に歸し、海軍の復興容易ならざるを看取し、艦隊の夭折を警めて將來の野心に備へ、海戦に於ては守勢を採るに決したり。此の守勢作戦に附帶して、海上權は戦はずして、英佛海軍に之を委せざる可らず。之が爲め海外に於ける植民地は孤立して敵の蹂躪に委し、海上に於ける通商貿易は遮斷せられ、經濟上の大打撃を受くるのみならず、戦争に必要な直接の需用品

も、猶且輸入の途絶え、軍事上に於ても至大の苦痛を感じざるを得ず。然れども己れ無爲にして、此の窮境を過す能はず。即ち敵國の通商貿易を妨害し、且成るべく敵海軍に損傷を與へんとする、海上作戦に於ける第二流の行動を以て、今次戦争に於ける作戦の主力針と爲すの已むを得ざるに至りたり。而して獨逸側の此の方針は、英佛海軍に於て著しき弱點を現はすに至らざれば、恐らく戦争の終局まで持續せらるべし。

此の方針の下に、獨逸艦隊は北海濱の軍港及びバルチック海に蟄居し、水兵を以て二師團を編制して陸戦に使用するに至り、露國のバルチック艦隊に對しては、挑戰的態度を以て北海を濶歩するも、北海方面に於ける英國艦隊に對しては、鼠族の如く逃避遁竄を是れ事とし、潜水艇を以て商船及び艦艇を撃沈するを唯一の目的とし、塙匈

國海軍も亦アドリヤチック海に屏息せり。

四 太平洋及び印度洋方面に於ける作戦

獨逸の極東艦隊の有力なるものは、夙に其の根據點たる青島を出で、南洋方面に行動して通商貿易を妨害し、且微弱なる敵艦隊に對しては、之を攻撃せんと策したるもの、如し。されば日本の青島封鎖に當り、同港に在泊せしものは三等巡洋艦一、砲艦四、驅逐艦二、假裝巡洋艦一及び塙匈國巡洋艦一、合計小艦九隻に過ぎず。彼の裝甲巡洋艦シャルンホルスト及びグナイゼナウ並に巡洋艦ニルンベルヒ等は南洋に遊弋し、巡洋艦エムデンも既に南航の後なりき。而してエムデンは印度洋方面に在つて、商船を惱すに任じ、ベンガル灣方面に於て狂暴を逞うしたるは人の能く知る所なり。

南洋方面の獨逸艦隊は、一九一四年十一月三日南米の智利コロネル沖に於て、英國艦隊と衝突し、英艦隊遂に敗れ、其の巡洋艦モンマウスは沈没し、グッドホープは火災を起し、グラスゴウはコロネル港に遁入し、獨逸艦の封鎖する所となりたり。此の海戦に参加したる獨逸艦は、裝甲巡洋艦グナイゼナウ、同シヤルンホルスト、巡洋艦ニュルンベルヒ、同ライプツヒ及び同ドレスデンの五隻にして、グ、シ及びこの三隻は何等損害を受けずして、バルバライン港に入りたり。右五隻より成る獨逸艦隊は、十二月七日朝南米の南端東側なる、英領フオクランド島附近に於て、英國スタデー中將麾下の艦隊に發見せられ、海戦の結果獨逸艦隊の坐乗せる旗艦シヤルンホルスト、及びグナイゼナウ並にライプツヒの三隻は、悉く撃沈せられ、且給炭船二隻も捕獲せられたり。ニユルンベルヒ及びドレスデンの二

巡洋艦は交戦中遁走せしが、英艦の追撃を受けニユルンベルヒは撃沈せられたりと云ふ。ドレスデンは其後智利沖に遊弋せしが、一九一五年三月十四日ジアン・フェルナンデス島附近に於て、英艦グラスゴウ、ケント及びオラスに出會し、交戦五分時の後白旗を掲けたるも損傷甚しく、火薬庫の爆發と共に沈没したり。

五 地中海及び黒海方面の作戰

開戦の初期、獨逸地中海艦隊のゲーベン及びブレスラウの二艦は、ダルダネルス海峡に遁入し、英佛兩國の抗議厳しきに及び、土國政府は買収の名義を以て、其の黒海艦隊に加へたるは、普く人の知る所なり。

塊匈國艦隊は、英佛艦隊の爲めアドリヤチック海内に封入せられ、

當初其の主力はボーラ附近に、其の一部はカッタロに潜入し在りたるものゝ如し。佛國艦隊は奥國領海ダルマシヤ海岸諸島間の水道に、機械水雷を布設せり。一九一五年五月下旬伊國の對奥國開戦後、奥國艦隊はアドチック海より伊國沿岸に出動し、アンコナ市街を砲撃せしに依り、伊國艦隊及び英艦二隻は、之と交戦して敵の小艦三隻を撃沈したり。然るに近時奥國の潜水艇は地中海に活動するの模様あり。現にシ、リー島附近に於て、十月六日希臘商船を撃ち、又十月十七日佛國汽船を沈撃したり。

地中海方面に於ける英佛聯合艦隊の、最も力を注ぎたるは、ダネルス海峡の砲撃とす。即ち一九一四年十月末、土耳其の獨奥側に參加するや、十一月三日及び四日聯合艦隊は、ダ海峡の諸砲臺を砲撃し、次いで十二月中旬に於て盛なる砲撃を加へ、一九一五年二

月十八日に至りては、戦艦十二隻驅逐艦二十隻を以て、大砲撃を加へ、十九日諸砲臺は沈黙し、君府に恐慌を起さしめ人心恟々たり。二月下旬より三月に互りては、英佛聯合艦隊は五十二隻を以て、大規模の砲撃を爲し、艦隊は大なる損傷を被りたり。是に於てダ海峡の舊式砲臺に對するも、猶且海軍のみの砲撃は有利ならざるを覺り、陸軍を以て攻撃に任ずるの方針を採り、四月に入り艦隊の砲撃は漸次緩漫となり、四月下旬英佛聯合陸軍のガリポリ半島の上陸となり、以後海軍は上陸掩護若くは陸兵と協同する場合に於てのみ、砲撃することゝなりたり。然れども二三月の交に於けるダ海峡及スミルナ沿岸に對する聯合艦隊の砲撃は、希臘及び伊太利等をして、聯合軍の威力に依り、君府の陥落は目睫の間に迫るか之感想を起さしめ、特に伊國をして戦後の國際地位を得んとの慾心を爆發せしめ、此の

好機を逸せば千載の遺憾として、急遽戦争に参加せしめたるの功からず。

(三六二)

土國艦隊は、七月六日始めて聯合艦隊に向つて交戦を挑みたりしが、忽ち大損害を受けて撃退せられたり。爾後聯合艦隊の潜水艇は逐次マルマラ海に潜入し、八月一日英國潜水艇は土國運送船二隻を沈没せし以來、數多の土國艦船を撃沈したり。

勃牙利の獨逸側に參戰するや、英佛聯合艦隊は十月十二日、エーヂヤン海沿岸に於ける勃國港灣全部の封鎖を宣言したり。

是より先、一九一五年二月三四日、土軍の蘇士運河攻撃に際し、英佛軍艦の運河湖上より英埃陸軍に協同し、土軍に退却の動機を與へたるの功は、看過す可らざることなるべし。

黒海に於ける露國艦隊は、一九一四年十一月十八日セバストポール

ル沖に於て、曩に獨逸より自稱買収の巡洋艦ゲーベン及びブレスラウと交戦し、ゲ艦は損害を受け且火災を起して遁走せり。爾後彼此兩艦隊の間に小戦あり、又互に沿岸砲撃を爲しつゝありて、一九一五年一月十八日露艦は土國商船數隻を沈め、二十四日飛行機十六臺を積載せる商船數隻を撃沈し、又露國艦隊の最近勃牙利沿岸を砲撃したること等を除きては、艦隊の著しき活動を見ず。

### 六 北海方面の作戦及び施設

開戦後英國艦隊は、屢々ヘルゴランド島方面に移動して、獨逸艦隊を挑むも、守勢を採るに決したる獨逸艦隊の眞面目に應戦すべくもあらずして、バルチック海の露國艦隊に對してのみ、活動の氣勢を示すに過ぎず。而して獨逸の潜水艇は、一九一四年九月十月の交より

(三六三)

北海の大部に互りて廣く活動し、蘇格蘭の北方シラトランド島附近にも出沒するに至れり。英國は倫敦東方と白耳義海岸との間、一定の區域に限り、中立國船舶の通航危険なるを警告し、且新に潜水艇及び發動機附端艇を艦隊に附屬せり。

獨逸は十月、丁抹瑞典間に於ける海峡閉鎖の爲め、ランゲラントベルト南方公海に、水雷を敷設せり。

英國は、獨逸が中立國の船舶を利用して愛爾蘭北方の公海に機械水雷を布設したるに依り、北海全部を以て交戦區域を認め、十一月五日、蘇格蘭北端より氷島に至る線以東に於ては、船舶の安全を保障せざることを布告したり。

十一月中旬に至りて、獨逸の潜水艇は、ドーバー及びオスタンド附近に出沒し、一九一五年一月一日英國の一戦艦は、英吉利海峡に

於て、獨逸潜水艇に撃沈せらる。

一月二十四日英國ヒッチー中將の率ゐる戦闘巡洋艦隊及び輕巡洋艦の一隊は、トリホイト提督の指揮する驅逐艦隊と共に、北海を巡航中、獨逸戦闘巡洋艦四隻、輕巡洋艦及び驅逐艦數隻より成る一艦隊の、英國東岸に向ふを發見したるに、獨逸艦隊は直に全速力を以て、自國の沿岸方面に遁逃を企てたるに依り、英國艦隊は之を急追して、茲に海戦を開きたり。英國艦隊は逃げ後れたる獨逸裝甲巡洋艦ブリュヘル(排水量一五、五五)を撃沈し、他の戦闘巡洋艦二隻に大損害を與へたり。捕虜の言に依れば、輕巡洋艦コルベルヒも亦沈没したりと。

英國側に在つては、戦闘巡洋艦ライオン(排水量二六、三五)は大なる損害を受けたり。猶戦闘巡洋艦タイガー(排水量二八、〇〇)の撃沈せられたる説あり。

二月上旬獨逸政府は、英佛間に軍隊及び軍需品の輸送あるを指摘し、英本國諸島近海は勿論、英佛海峡をも交戦地と看做すこと、従つて軍事に關係なき船舶は是に接近せざること、英國が其商船をして故意に中立國旗を掲げしむるに依り、中立船舶の船員乗客の安全の責にも任せざること、竝に二月十八日より一律に潜水艇攻撃を行ふべきことを豫告したり。

右の宣言以來、獨逸潜水艇は北海に活躍したるのみならず、重要航路に水雷を敷設し、又は放流せしもの、如く、英國汽船は勿論中立國船舶の被害も亦頻出し、危害の及ぶ所甚大なるに依り、遂に米獨間の問題を惹起するに至れり。而して獨逸は潜水艇乗組員を獎勵し、英國に向ふ商船を撃沈したる者には、破格の賞與を給すること、又該商船の積載せる食料品又は其の他の貨物を拿捕したる者には、

相當の報酬を與ふべきことを約したり。

英國政府は三月に至り、獨逸沿岸の封鎖を宣言し、發着貨物の輸送を遮断すべき、詳細なる規定を發表せり。是が爲め經濟上最も大なる打撃を受くべき米國に於ては、漸く物議を惹起するに至りたり。獨逸に於ては、索遼其の他の機械工場に於て、盛に潜水艇組立材料を製造し、絶えず英國海面封鎖の根據地に輸送せられつゝあり。而して獨逸潜水艇は英國西方の大西洋方面にも出動し、五月四日に至りては愛爾蘭沿岸キンセル港沖に於て、彼の世界に名聲高き英國の巨船ルシタニア號を、何等の警告なく沈没せしめたり。同汽船は總噸數三萬四百噸速力二十五節にして、其の乗組員六百名と乗客との總數千九百七十名中、生存し得たる者は僅に七百六十四名に過ぎず。而して米國人たる旅客の失命者百三十九名に達したるに依り、



米國上下の輿論は沸騰し、或は排獨主戰論となり、或は國際仲裁々々判提出説となりて、物情騷然たるものあり。大統領は冷靜の態度を以て、獨逸政府に抗議を提出したり。英國各地殊にリヴァプールに於ては排獨感情熾烈を極め、倫敦に於ても獨逸人經營の商店百餘戸は、忽ち群集に破壊せられ、獨商と群集との間に争闘あるに至りたり。

又米國汽船ネブラスカンは米國旗を掲げ在りしに拘らず、五月二十六日愛爾蘭西南端クリヤ岬附近に於て、獨逸潜水艇に撃沈せられ、米國上下の驚愕一方ならざりしに、七月二十六日米國汽船リラナウ號も、亦北海に於て撃沈せられたり。米國は恰もルシタニア號事件に就き強硬なる態度を以て、獨逸と交渉中なりしに依り、米國の議論復又沸騰するに至れり。然れども北海に於ける獨逸潜水艇の跳梁は彌々甚しく、英國艦船の受くる損害日々に益々大なり。

八月十九日一萬六千噸の英國汽船アラビック號は愛爾蘭沖に於て、獨逸潜水艇の撃沈する所となれり。船中米國旅客ありたるに依り、米國の輿論更に激昂緊張するに至れり。是に於て獨逸は『旅客船に對しては、警告を與へたる後に非ざれば潜水艇の攻撃を行はず』との米國主張を容認したり。以來米國の對獨感情は俄然緩和せり。

從來獨逸潜水艇の活動、如何に猛烈なりしかは、英國ロイド登録汽船が、開戦後一年一ヶ月即ち一九一四年八月より翌年八月盡日までに、撃沈せられたる船舶の總數は、百三十八隻の多額に達せるを見て推知するを得べし。然れども獨逸潜水艇の行動は、十一月の交に至り稍其の氣勢の鈍りたるの觀を呈せり。之に反し英國の潜水艇は、漸次北海に行動し、現に十月十五日丁抹瑞典間なるエーレブンドに於て、獨逸驅逐艦一隻を撃沈したり。

七、バルチック海方面の作戦

バルチック海に於ける露國艦隊は、到底同海に於ける優勢なる獨逸艦隊の敵に非ざるも、露國艦隊は機を見て屢々有利なる戦闘を交へたり。即ち一九一五年八月八日リガ灣口なるエズル島附近に於て、露國艦隊は、獨逸戰艦九隻、巡洋艦十二隻及び多數の驅逐艦より成る一艦隊を攻撃し、多大の損害を與へて之を撃退したり。

次いで八月中旬、優勢なる獨逸の一艦隊は、大運送船數隻を伴ひ、リガ灣に闖入して露國艦隊を壓迫し、八月十九日以來ペルノウ灣に強行上陸を企畫中、露國艦隊之を攻撃して、敗退せしめたり。而して露國公報に依れば、此の戦闘に於て獨逸巡洋艦二隻、驅逐艦二隻及び水雷艇若干を撃沈し、又英國潜水艇は、獨逸の弩級戰艦モルト

ケをも撃沈せしことを確證し、露艦シウイチは沈没したりと。然るに獨逸公報は其の損害微小なるを云ひ、後モルトケの沈没を極力否認せり。

北海方面に於ける獨逸潜水艇の跋扈に依り、英國艦船の被害劇甚なるに鑑みたるものゝ如く、英國潜水艇は最近バルチック海に活動するに至れり。而して去る十月中旬のみにても、十數隻の獨逸汽船を撃沈し、十月下旬更に其の數隻を沈没せしめたり。特に十月二十四日リパウ沖に於て、獨逸裝甲巡洋艦プリンツ・アダルベルト(排水量八、〇節三)を爆沈したり。而して露國の潜水艇も亦十月以來、バルチック海に活躍して、獨船を撃沈しつゝあり。

歐 洲 大 戰 終

索 引

一 人名地名索引

【ア行】ア

- アイスランド島……………三六四
- 愛爾蘭……………三六四、三六七、三六九
- アカバ灣頭……………二九七、二九八
- 亞細亞……………一四三
- アスブル……………一四六
- アゾフ海口……………二九〇
- アドリアチック海……………二八七、二七六、二八八、三〇〇、三〇三、三〇五、三〇七、三〇九
- アドリアノーアル……………一四六、二〇八
- アナトリ・カガアツク……………一四七
- アフリカ(西部)……………二〇〇

- アーヘン……………一六五
- アミアン……………一六六
- アラール……………二〇六
- アラ……………三三九
- アリツシユ……………二九七、二九八
- アルゴヌ……………一六五、一八四、一八六、一八九、一九二
- アルサス……………一〇六、一〇三、一〇四、一〇六、一〇七、一〇三、一〇七、一〇八、一〇九、一〇四
- アルタハン……………二九三
- アルザエリー……………一〇五、三三三
- アルバニヤ……………八一〇、二九、二七五、二七六、二三八
- アルプス……………一五、二九六、三三七、三四〇
- アルレ河……………二〇九
- アルレンスタイン……………一七、二〇九
- アレキサンドリヤ……………三〇六
- アレブホ……………一四六





戦大洲歐

(三七八)

グラチエヴァチ……………二七四  
 グラデスカ……………三六、三六  
 クリチヤ……………三〇七  
 クリミヤ半島……………二九〇  
 クリーヤ岬……………三六八  
 クルセルヴァツツ……………二七五  
 クルツオラル群島……………三八  
 クルツク將軍……………一六五  
 クルツラ……………三八  
 クルーバニエ……………二六四、二六六  
 クールバラ河……………二六七  
 クルルル……………二七六  
 クレツチ・ブルヌ……………一四七  
 カロウノ……………三三七  
 カロドノ……………二一九  
 カロテツク……………二四三

ケ

クーロンミエー……………一九七  
 カンピネン……………二〇八、三三七  
 君府……………二五九、二六一、二六八、二七三、三〇七、三〇九、三三四

コ

コーエル……………二四八、二四九  
 コエルツ……………三三八、三七七、三三九  
 コウノ……………一七七、二〇八、二四六、二四七、二五四  
 紅海……………二九七  
 高架索……………八三、八四、一四六、三六六、二九〇、二九二  
 黒海……………八四、二七五、二九〇、二九一、三〇一、三〇二  
 コーク……………二四四

索引

濠洲……………三三、三三八  
 膠洲灣……………二七〇、二七九、二八二、二八五  
 コスマイ……………二六八  
 コノウ縣……………二六八  
 コラ・カルヴァリヤ……………三三二  
 コリツツア……………三三七  
 コルム……………二二三、二四二、二四三、二四四、二四六  
 コロネル沖……………二六八  
 コロネル港……………二六八  
 コロサン……………二九三、二九四  
 コンメルシー……………一六八  
 コンラード・フォン・ヘツツェンドルフ  
 將軍……………三三七

【サ行】サ

サイチャール……………二七四  
 (三七九)

サイウ河……………二五八、二六〇、二六四、二六五、二六七、二七一、二七三  
 サレン……………三〇〇、三〇三、三〇三  
 索遜國王……………三三  
 サセノ……………三三八  
 サムソノフ……………二〇九  
 サンドラ……………三三四、三三一  
 サリカミツシエ……………二九四  
 サールプール……………一六八  
 サルニー……………二五一  
 サロス灣……………一四七、三〇八  
 サロニカ……………二七四、二七五、三三九  
 サン・ウ井ド……………一六五  
 サン河……………二二五、三〇一、三〇三、三三九、二四二、二五三  
 三哥庄……………二六一  
 サンシヤク……………三三  
 サン・ザリアノ侯……………三三三、三三四、三三三

歐 洲 大 戦

(三八〇)

- サンブル河……………一八五、一八六、一八五
- サンミケール山……………三六
- シ
- シウエー……………二六、一八五
- シエベル・リブニ……………二九八
- シエツトランド島……………三六四
- シエルサレム……………二九八
- シシリ島……………三六
- 支那……………二七六
- 支那海……………二七六
- シナイ半島……………二九六、二九八、三〇〇、三〇一
- 西伯利……………二八、二九六
- シヤウリ……………三九、二四六
- シヤバツツ……………二六四
- 暹羅……………二〇
- シヤルム……………一六八
- シヤルルロア……………一八五、一八六、一九二
- シヤンパーニュ……………二〇六
- シユアン・フェルナンデス島……………三九
- シユマル・バシヤ……………二九八
- シユラ……………一〇六
- 小亞細亞……………一四六、三〇四
- シヨツフル將軍……………一八五
- シヨレー……………一〇四
- シヨン・バーン……………二四
- シーラツツ……………三三
- シールウ井ント……………二六
- シレツヤ……………四五、一七九、二九、三四、三五、三三
- シリヤ……………二九六、三〇〇
- 新嘉坡……………二九一
- ス

索 引

(三八一)

- 瑞西……………四六、一〇五、一〇六、一〇三、一〇五
- スーヴオポール山……………二六七、二六九
- スヴラ灣……………三〇九
- スキエルニエウイツェ……………三三九
- 蘇格蘭……………一四、三六四
- スザテツク……………三三
- スタデー中將……………三六
- スタル・ナーネン……………二九
- スチール河……………二五〇
- ストラスブール……………二六三、一九一
- ストリコウ……………三三
- ストリバ河……………二四九
- ストルムニツツア……………二七六
- スミルナ……………一四六、三三、三六一
- スロニム……………二五〇
- セ
- 青島……………二八〇、二八二、二八三、三三七
- セザル・パール……………一四七
- セーヌ河……………一九七、二〇三
- セバストポール……………三六二
- セムリン……………三六五
- セメンドリヤ……………二六七、二七三
- セラエヴチ……………一一
- セラタツス……………一四七
- セラパウム……………二九、三〇〇
- 塞耳維(塞國)……………四一〇、三一七、三七一、三三、一八〇、二五八、二六四、二六九、二七、二七三、三四、四六、四七
- ゼワツト・バシヤ……………三〇七
- 即墨……………二八一
- ソフィア……………二七四
- リ





(三八四)

トリエスト ..... 三三〇、三三八  
 トリエント ..... 三三〇、三三〇  
 ドリナ河 ..... 二五八、二六〇、二六二、二六四、二六六、  
 二六九、二七一、二七三、二七四  
 トリホイット提督 ..... 三六五  
 トリポリ ..... 三二七  
 トール ..... 二九八  
 土耳其斯坦 ..... 八三  
 土耳其(土國) ..... 二二七、二六八、二九二、二九五、  
 三〇〇、三二九、三四六、三五九、三六〇  
 トルミノ ..... 三七七、三三八  
 トルニ ..... 一七六、三三三、三三五、三三七  
 トレーヴ ..... 一六六  
 トレヴ井ヅ ..... 三四〇  
 トレニエ ..... 二六八  
 塔連島 ..... 二八二  
 トレンチノ ..... 三三〇、三三三、三三五、三三七、三七一、三四〇

トレンボウラ ..... 二四八  
 ド・ロモン ..... 一〇六  
 ドンビエ ..... 三六、三八

【十行】十

ナガラ岬 ..... 一四七、一〇四  
 ナーケル ..... 二九七、二九八  
 拿破翁一世 ..... 四、一三、二四、二七、二八、二九、  
 ナミュール ..... 二六、三六、一八四、一八五、一八六  
 ナレウ河 ..... 八六、一七七、二〇九、二三五、二四四、三四七  
 南洋 ..... 三五七、三五八

二

ニコラス大公 ..... 三三二、三三〇  
 ニーダ河 ..... 三三〇、三三九、三四〇、一五八、三〇〇、二六一、  
 二六八、二七〇、二七一、二七四、二七五  
 ニーメン河 ..... 八六、二二〇、二二九、二二六

日本 ..... 九、七、一五九、一四三、三三七、二六七、三四八  
 ニューキヤツスル ..... 一四四  
 ニュージーランド ..... 三四八  
 ニューファウンドランド ..... 三〇  
 ニューヘブリヂス島 ..... 二〇  
 ニューポール ..... 一〇五  
 又  
 ノーシヤト ..... 一八四  
 ネ  
 ネットシヤール山 ..... 二六八  
 ネブラスカン ..... 三六八  
 ネル ..... 三三七  
 ノウ井バザール ..... 三  
 (三八五)

ノヴォ・ゲオルギエフスク ..... 八六、三二、二五四  
 ノヴォ・ラドムスク ..... 三三六

【八行】八

巴威里 ..... 三〇一、三三、三三七  
 ハーウイツチ ..... 一三七  
 ハウゼン將軍 ..... 一六五  
 バグダット ..... 一四六  
 パーナーテイストン少將 ..... 二八一  
 パビアニツエ ..... 三三〇  
 ハミルトン大將 ..... 三〇六、三〇九  
 バラシン ..... 二七四  
 バラノーウイツク ..... 二五〇  
 巴里 ..... 一六三、一八九、一九四、一九七、一九九、二〇一  
 ハリ・エル・ウオジャ ..... 二九八  
 パルチツク海 ..... 一八四、二三八、二四六、三五六、  
 三六三、三七〇、三七一



普國皇太子 ..... 一六五  
 プローマ ..... 一三三  
 米國 ..... 三六七  
 マトロコウ ..... 三三〇  
 ヘーリシゲン將軍 ..... 一六六  
 白耳義(白國) ..... 一三三、一四六、一五五、一〇八、一三三、  
 一三九、一六三、一七〇、一八〇、一八四、  
 一八五、二〇一、二〇四、二〇五、二四三、二六四  
 白耳義王 ..... 三三  
 ベルケラード ..... 二六四、二六八、二六九、二七三  
 ヘルゴランド島 ..... 三六三  
 波斯 ..... 二五九、二九二  
 ベルノウ灣 ..... 三七〇  
 ベルフォール ..... 一六七、一六八  
 伯林 ..... 四、一七五

ホ

ベンガル灣 ..... 三三七  
 ハンプロックリードツク ..... 一三四  
 北海 ..... 二四、二〇五、二四八、三三九、三六八、三九八、七〇一  
 ホー河 ..... 一五三、三三六  
 ホザレヴァツツ ..... 二七三  
 ホスニヤ ..... 二五八、二六三、二六四、二六六  
 ホスニヤ・ヘルツェゴイナ ..... 二一八、二一六、  
 一四、三三、三五  
 ホスホラス海峽 ..... 一四七、三〇一  
 ホーゼン ..... 八五、一七九、二三八  
 ホチオレツク將軍 ..... 二六三  
 ホーツェン ..... 三七七  
 ホドコラ ..... 三八八  
 ホアル河 ..... 一四七  
 ホーラー ..... 三六〇

波蘭 ..... 四、七四、一六八、一八〇、二二二、二四三、二五、  
 二二八、三三二、三三三、三三四、三五、三三三、三三六、  
 二四三、四三、二四六、二五、三五、二八九、三三三  
 ホリモフ ..... 三三六  
 ホルドー ..... 一七七  
 ホレシエ ..... 二五〇  
 【マ行】マ  
 マインツ ..... 四六、一九一  
 マイドス ..... 一四七  
 マコラ ..... 三三二  
 マセドニア ..... 八、一三三、三〇九、三四二、四六  
 マヂシアル・カヴァツク ..... 一四七  
 マツケンセン ..... 二五、二四一、二四二、二七〇  
 マヅール ..... 二九、三三  
 マリアナ群島 ..... 二八四  
 マリエンブルク ..... 一七六  
 マルヌ河 ..... 一〇七、一九五、一九九、三二二

マルマラ海 ..... 三〇一、三〇四、三〇八、三二一、三六三  
 マルメヂ ..... 一六五  
 滿洲 ..... 一四〇、二四二

ミ

ミタワ ..... 三三六  
 ミトロヴ井ツツア ..... 二七四、二七三、二七五  
 ミラン市 ..... 三三一  
 ミンスク ..... 二四八

ム

ムーズ河 ..... 一〇七、一〇八、一三六、一三七、一六五、  
 一六七、一六九、一八二、一八四、二〇四  
 ムラヤ ..... 三三六

メ

メジエール ..... 一〇八、一六八、一七〇  
 メソポタミヤ ..... 一四  
 メツツ ..... 一六三、一六五、一八四、一八九、一九一

(三九〇)

モ

モツテルニヒ ..... 三三〇

メーメル河 ..... 二四六

メレダ ..... 三三八

モ

モ ..... 一九七

モスール ..... 一四四

莫斯科 ..... 二三四、二四二

モゼル河 ..... 一四六、一七七、二六七

モナスチール ..... 二七五

モトブージュ ..... 一九九、二七〇

モラワ河 ..... 二六〇、二六一、二七〇、二七三

モリ ..... 二四〇

モレー ..... 二四

モルトケ將軍 ..... 一六一

摩路哥 ..... 二〇〇、二〇七

【ヤ行】ヤ

モンス ..... 一六六、一八四

モンテ ..... 一〇八

墨山國 ..... 七、二五八、二六三、二七三、二七六

モンフアルニーン ..... 三三八、三三七

【ヤ行】ヤ

ヤコプスタット ..... 二四七

ヤシオダ河 ..... 二五〇

ヤスロ ..... 二二、三三九

ヤダール河 ..... 二六二、二六四

ヤツブ島 ..... 二八四

ヤルト島 ..... 二八四

ユ

ユスキュブ ..... 八

ヨ

(三九一)

ヨセフ・フェルザナン大公 ..... 二二二

歐羅巴 ..... 一四四

【ラ行】ラ

ライト ..... 一〇七

ライバッハ平地 ..... 三三七

ライン河 ..... 四六

ラゴスタ ..... 三三八

ラスク ..... 三三〇

ラツアレヴァツツ町 ..... 二六八

ラドーム ..... 三三〇

ラ・パツセー ..... 二〇六

ラ・フェール ..... 二〇八

ラワ ..... 二三〇、二三八

ラワルスカ ..... 二四二

リ

ラン ..... 一〇八

ランカルド、カリール將軍 ..... 一六六

ランザック將軍 ..... 一六八

ランス ..... 一〇八

リ

リエーシュ ..... 一六、一八四

リヴァ ..... 三四〇

リヴァプール ..... 二四、二六八

リウーボヴ非ア ..... 二六四、二六六

リガ ..... 二四六、二四八、二七〇、

リーク ..... 四

リグ河 ..... 二六七

リツサ ..... 三三八

リバウ沖 ..... 三七一

リバウ軍港 ..... 二三八



(三九四)

伊國の中立……………三三三

伊國民族……………三九一—三九二

伊國の民論……………三五五

伊太利新聞……………三七七

一年志願兵……………一四三

印度シーク兵……………二八一

印度事務大臣……………三三三

印度の英兵……………二二三

**ウ**

ヴアルダル師團……………二二九

ウエーゼル要塞……………四〇六

ヴェルダン要塞……………一〇七—一〇八

ウユルテンベルク軍……………四二二

ウユルテンベルク國王……………三三三

**エ**

エヒナル要塞……………一〇八、一〇七

エムデン……………三三七

英埃軍……………二九七、三〇〇、三〇三

英軍……………二六七、二七〇、二七六、二八七、二九一、二九四、  
二九八、二九七、二九九、三〇〇、三〇六、三〇七

英軍邊境兵……………二八一

英國海軍……………三四八、三五二、三五五

英國海面封鎖……………三六七

英國海軍の三大策源地……………二二五

英國艦隊……………三五八、三六三、三六五

英國軍……………一九一—一九七

英國潜水艇……………三〇八、三一一、三六九、三七一

永興灣要塞……………一四三

埃及侵入……………三四四

英佛海軍……………三五五、三五六

英佛協商……………一〇〇、一一一

(三九五)

英佛協約……………三四九

英佛軍……………二八八、三〇七、三三三

英佛大使……………二九〇

英佛聯合艦隊……………三〇五、三〇六、三〇九、三一一、三二四、  
三四四、三五一—三六二

英葡協約……………三〇九

英露協商……………一五二、二二

遠征軍……………三〇六、三一一

**オ**

オギンスキー運河……………二五〇

オストロレンカ要塞……………八六

オストラ……………三五九

オストローク要塞……………八七

オソウエツツ要塞……………八六、二三八、二五〇

オットマン老帝國……………二八九

オリク要塞……………八六、二四七

奥伊の外交……………三三三

奥匈艦隊……………三六〇

奥匈軍……………七二、一七五、一七六—一九〇、二二二—二二六、  
二二八、二三〇、三三三、三三三、三三三、三三三、二五  
八—二六九、二七一—二七四、二八九、三二二、三三  
七—三四〇、三四四

奥匈國軍……………六三—七七

奥匈國海軍……………三五〇、三五、三五六

奥匈國艦隊……………三五九

奥匈國公報……………三三九

奥匈國大使館……………三三七

奥匈國の回答……………三三三

奥國人……………六四

奥國新聞紙……………一一

奥塞問題……………一六八、一九、一七九

奥塞の危機……………一七

**【力行】カ**

カミーンネツス要塞……………三八  
 海岸要塞……………一四二  
 海峽艦隊……………三四八  
 海峽監督權……………三〇三  
 海軍擴張……………三四九、三五〇  
 海上權……………三五五  
 海上作戰……………三五六  
 海兵……………六〇  
 開城規約……………二八三  
 皆兵主義……………六五、一〇三  
 加農砲……………四七、四八、一三六、一三八  
 寒氣……………一三六  
 艦隊法……………三五〇

キ

キヨルン要塞……………四六

機關砲……………一三五、三〇、一三八、一五三、一五九  
 機械水雷……………三六〇  
 汽車輸送……………三三五  
 騎兵高等司令官……………一三三  
 穹窿砲臺……………一三八  
 義勇兵……………五九  
 義勇團……………一〇九、一一〇  
 白砲……………四七、一三〇、一三八  
 極東……………一七四  
 極東艦隊……………二八二、三三七  
 協商軍……………三〇三、三〇八、三〇九、三四六  
 協商國……………二六二、四三三、三四六  
 協商國の海軍……………三五四  
 協商諸國……………三五六、二六九、三九一  
 協同動作……………二二七  
 共同軍……………六八一、七一、七四、七六

共同陸軍大臣……………六六  
 橋頭堡……………七三、八六  
 希臘正教……………六  
 基隆要塞……………一四三  
 近東……………二五五

ク

カッドホーブ……………三五八  
 ガナイゼナウ……………三五七、三五八  
 カラウテンツ要塞……………四四  
 カラガウ要塞……………四四、七三、二四〇  
 カラスゴ―……………三五八、三五九  
 クルズ要塞……………八六  
 クルツプ砲……………一四八、三〇五  
 クルツプ鋼砲……………一五四  
 クルツプ式輕榴彈砲……………一五四

クルツプ製ニツケル鋼砲……………一五六  
 クレミエニース要塞……………八七  
 クロドノ要塞……………八六、二四七  
 灰泉角砲臺……………二八〇  
 火砲……………一三六  
 君主國軍……………九四  
 軍事參議院……………一二二  
 軍人志願者……………一五四  
 軍隊役務……………三六  
 軍團……………四九、六八、七四、七五、一〇四、一一〇、一五五  
 軍備擴張……………三九一、四三三、四三三  
 軍備の競争……………四〇、一〇〇  
 久留米第十八師團……………二八一

ケ

ケーニヒスベルグ要塞……………四三、二二一

ゲーベン……………二八八、三三九、三三三  
 ケント……………三五九  
 鑿駕式……………一四六  
 輕速射砲……………一三六  
 血税……………一六六  
 決戰的攻勢……………一九〇  
 藝豫要塞……………一四三  
 現役：充、七〇、八〇、一〇〇、一〇一、一三三、一四一、一四三、一四四  
 現役軍の豫備役……………一〇〇  
 遣外艦隊……………一四九  
 牽制運動……………一七八  
 嚴正中立……………一三三  
 元帥府……………一四〇

コ

コーエル要塞……………一七六

コウノ要塞……………八六、二四九  
 コソヴァ師團……………一三九  
 コーチン堡……………一八八  
 コブレリツ要塞……………四六  
 コルベルヒ……………三六五  
 攻圍動作……………三三八  
 護郷軍……………六一七、七四、七六  
 護郷兵役……………一三五  
 黒海艦隊……………三九、三六三  
 國民皆兵制度……………一三三  
 國民軍……………二九、六〇、七四、七六、一四〇、一四四  
 國民兵役……………三六、三六、七〇、八〇、一四三  
 國民豫備……………一三三  
 國境要塞……………七  
 哥薩克騎兵……………一三三  
 哥薩克軍……………七六

哥薩克の兵役……………一八一  
 後座式……………一八八、一三六  
 攻勢運動……………一三七  
 攻勢作戦……………一七六、一七六、一八八、二〇八、  
 二一七、二二四、二二四、二二五  
 攻勢的防禦……………一九五  
 攻略準備……………一三六  
 工業國……………一三三  
 黃禍……………二七九  
 交通機關……………一七四  
 濠洲軍……………三〇六  
 坑道戰……………三〇八  
 國防會議……………一三〇  
 後備軍……………一八、一五〇、一四四  
 後備役……………一〇〇、一〇一、一四一  
 後備軍の豫備役……………一〇〇

後備部隊……………一六〇  
 講和……………一九七  
 高等軍事會議……………七六、九六、九七、一三八  
 高等國防會議……………九六、一五〇  
 高等戰略……………一三三

【サ行】サ

サムソノフ軍……………一七七、二〇九—二一一、二二八  
 サモスク要塞……………一八七  
 サランドラ内閣……………一三二  
 サン・ステファノ條約……………一三  
 サンヂヤク鐵道……………三二二  
 塞軍……………八、二五九—二七六  
 塞國軍……………一三七—一三三  
 塞國公使館……………一  
 塞國新聞紙……………一三



歐 洲 大 戰

(四〇〇)

最後通牒……………一三四、一七九、三三三、三三九  
 索遜軍……………三三  
 砂漠……………二九六—二九九  
 佐世保要塞……………一四三  
 三國干涉……………二七九、二八五、二八六  
 三國協商……………三三七、三三八  
 三國同盟……………一四一、一五三、一六六—一六九、一七二、  
 一七三、一七九、一八〇、一八三、一八四  
 三段作戰……………三二〇  
 三年兵役制……………一〇一、一〇五  
 山砲……………七四、三〇〇、一五四  
 參謀總長……………六六  
 參謀本部……………三三  
 シエロツク要塞……………八六  
 シウイツチ……………七二

シャルンホルスト……………三三七、三三八  
 シュナイドル式鋼製遠射砲……………一三〇  
 シュナイドル製榴彈砲……………一三〇  
 シュナイドル速射砲……………一四八  
 シュナイドル速射鋼砲……………一五九  
 シリヤ軍……………三〇一  
 シロマニー要塞……………一〇六  
 示威運動……………三三七  
 士官學校……………九三  
 志願制度……………一三一  
 志願兵……………一四  
 四國協商……………三二七  
 止阻堡……………一〇八  
 自治軍政機關……………三三  
 實利主義……………三九一  
 支點堡壘……………一六、一三七

索 引

(四〇一)

次等堡壘……………一六、一三七  
 支那中立地……………一六四  
 下ノ關要塞……………一四三  
 社會主義者……………三五  
 守勢作戰……………三五  
 守備部隊……………七六、七七、一四〇  
 洲兵事會……………一三〇、一三三  
 職工……………五三、五四  
 植民地軍團……………一〇四、一〇五  
 將校……………五、六、九、一六、一七、一八  
 商隊道路……………二九七  
 小銃：恩、七、八、八、一〇九、一三〇、一三六、一四八、一五三、一五九  
 常備兵役……………三七、三八、八〇、二八、一三四  
 常備軍……………二九、六〇、七、七、三九、一五〇、一五九  
 沼林地帶……………二五三  
 獎勵金附志願兵……………一三四

人道平和論者……………一四  
 神聖戰爭……………二九一  
 迅速……………一三三  
 準備役……………八一  
 ス  
 スラヴ民族……………六、七、一六、三三〇  
 ストラスブル要塞……………四六  
 蘇士運河……………二九〇、二九五—三〇〇、三六一  
 セ  
 日耳曼民族……………二五、三三〇  
 制海權……………三五四  
 正規軍……………七四、七八、二九、一三一  
 青島封鎖……………三五四  
 青島の防備……………二八〇

四〇二

青年土耳其黨……………三九一

西歐戰場……………  
 {一七九、二〇八、二二三、二七二、二八  
 三三二、三三三、三七五、三五五}

西露戰場……………三四六

絕對的加特力教……………二五

塞耳維語……………六五

戰時兵力……………  
 {四八、七四、八九、二六、一三三、  
 一三九、一四九、一五四、一五九}

戰時編制……………八九、二六、一三三、一四九、一五四、一五九

戰局制限……………一八、三三

戰略的防禦……………一七八、一七九

戰略戰術……………一八

戰列役……………八二

潛水艇……………三三、三三、三三、三三、三三

潛水艇攻擊……………三六

選拔輕步兵……………一五三

宣戰布告……………一五八、二二七、三三三

速射砲……………四八

掃海事業……………二八二、三〇五

【夕行】夕

タイガー……………三六五

タ海峡攻撃……………三〇一、三〇三、三〇九、三二四、三三〇

ダニューブ師團……………三九

タルノポール要塞……………八七

ダンチヒ要塞……………四

第一國民兵役……………三六、七〇、一四二

第一次後備役……………七

第一種國民兵役……………八〇

第一線築城方式……………八五

第二國民兵役……………三九、七〇、一四二

第二後備役……………七、八

第二種國民兵役……………八一

對濠戰……………三三

大塞耳維主義……………五六、一〇

大統領……………九五

泰西鎮砲臺……………二八〇

韃靼人……………九〇

鍛鍊青銅砲……………七三

單獨不講和……………一〇一

團隊補充……………一一、一二

團隊駐屯地……………一七四

千

ザンアンホーフエン要塞……………四六

チヤタム要塞……………二四、二五

チユニス占領師團……………一〇四

(四〇三)

チユニス土民……………三二五

チユブノ要塞……………八七

持久戰……………三三

窒扶斯……………二四〇

地方軍……………一〇〇、一三三、一三六

地方軍豫備……………一三〇

地方民兵軍……………一五〇、一五四、一五八

地中海艦隊……………三五九

中立義務……………二六

中立國旗……………三六六

中立國船舶……………三六六

中立侵害……………三三

中央亞細亞……………一五

重砲……………四七

徵兵忌避……………九一

鎮海灣要塞……………一四三

(四〇四)

ツ

ツール要塞……………107、108

對馬要塞……………143

テ

テポール式火炮……………154

敵前上陸……………306

敵前渡河……………260

鐵道の利用……………41

適齡前入營志願兵……………134

ト

トリポリ戦争……………319、350

ドリナ師團……………119

トルン要塞……………4、45、211、233、233

ドレスデン……………358、359

トレント要塞……………339

獨逸沿岸封鎖……………367

獨逸海軍……………348—350、353、354

獨逸艦隊……………177、278、356、358、363、365、369

獨逸國軍……………261—263

獨逸語……………64

獨逸公報……………238、249、271

獨逸人……………90、92、265—267

獨逸潜水艇……………331—371

獨逸増援兵團……………222

獨逸大使……………288

獨逸の男子……………50—55

獨逸鐵道……………233

獨逸の武力……………114

獨逸の秘密動員……………17

獨逸聯邦……………30

(四〇五)

獨軍……………162—167、168—170、171—173、174—175、176—177、178—179、180—181、182—183、184—185、186—187、188—189、190—191、192—193、194—195、196—197、198—199、200—201、202—203、204—205、206—207、208—209、210—211、212—213、214—215、216—217、218—219、220—221、222—223、224—225、226—227、228—229、230—231、232—233、234—235、236—237、238—239、240—241、242—243、244—245、246—247、248—249、250—251、252—253、254—255、256—257、258—259、260—261、262—263、264—265、266—267、268—269、270—271、272—273、274—275、276—277、278—279、280—281、282—283、284—285、286—287、288—289、290—291、292—293、294—295、296—297、298—299、300—301、302—303、304—305、306—307、308—309、310—311、312—313、314—315、316—317、318—319、320—321、322—323、324—325、326—327、328—329、330—331、332—333、334—335、336—337、338—339、340—341、342—343、344—345、346—347、348—349、350—351、352—353、354—355、356—357、358—359、360—361、362—363、364—365、366—367、368—369、370—371、372—373、374—375、376—377、378—379、380—381、382—383、384—385、386—387、388—389、390—391、392—393、394—395、396—397、398—399、400—401、402—403、404—405、406—407、408—409、410—411、412—413、414—415、416—417、418—419、420—421、422—423、424—425、426—427、428—429、430—431、432—433、434—435、436—437、438—439、440—441、442—443、444—445、446—447、448—449、450—451、452—453、454—455、456—457、458—459、460—461、462—463、464—465、466—467、468—469、470—471、472—473、474—475、476—477、478—479、480—481、482—483、484—485、486—487、488—489、490—491、492—493、494—495、496—497、498—499、500—501、502—503、504—505、506—507、508—509、510—511、512—513、514—515、516—517、518—519、520—521、522—523、524—525、526—527、528—529、530—531、532—533、534—535、536—537、538—539、540—541、542—543、544—545、546—547、548—549、550—551、552—553、554—555、556—557、558—559、560—561、562—563、564—565、566—567、568—569、570—571、572—573、574—575、576—577、578—579、580—581、582—583、584—585、586—587、588—589、590—591、592—593、594—595、596—597、598—599、600—601、602—603、604—605、606—607、608—609、610—611、612—613、614—615、616—617、618—619、620—621、622—623、624—625、626—627、628—629、630—631、632—633、634—635、636—637、638—639、640—641、642—643、644—645、646—647、648—649、650—651、652—653、654—655、656—657、658—659、660—661、662—663、664—665、666—667、668—669、670—671、672—673、674—675、676—677、678—679、680—681、682—683、684—685、686—687、688—689、690—691、692—693、694—695、696—697、698—699、700—701、702—703、704—705、706—707、708—709、710—711、712—713、714—715、716—717、718—719、720—721、722—723、724—725、726—727、728—729、730—731、732—733、734—735、736—737、738—739、740—741、742—743、744—745、746—747、748—749、750—751、752—753、754—755、756—757、758—759、760—761、762—763、764—765、766—767、768—769、770—771、772—773、774—775、776—777、778—779、780—781、782—783、784—785、786—787、788—789、790—791、792—793、794—795、796—797、798—799、800—801、802—803、804—805、806—807、808—809、810—811、812—813、814—815、816—817、818—819、820—821、822—823、824—825、826—827、828—829、830—831、832—833、834—835、836—837、838—839、840—841、842—843、844—845、846—847、848—849、850—851、852—853、854—855、856—857、858—859、860—861、862—863、864—865、866—867、868—869、870—871、872—873、874—875、876—877、878—879、880—881、882—883、884—885、886—887、888—889、890—891、892—893、894—895、896—897、898—899、900—901、902—903、904—905、906—907、908—909、910—911、912—913、914—915、916—917、918—919、920—921、922—923、924—925、926—927、928—929、930—931、932—933、934—935、936—937、938—939、940—941、942—943、944—945、946—947、948—949、950—951、952—953、954—955、956—957、958—959、960—961、962—963、964—965、966—967、968—969、970—971、972—973、974—975、976—977、978—979、980—981、982—983、984—985、986—987、988—989、990—991、992—993、994—995、996—997、998—999、1000—1001、1002—1003、1004—1005、1006—1007、1008—1009、1010—1011、1012—1013、1014—1015、1016—1017、1018—1019、1020—1021、1022—1023、1024—1025、1026—1027、1028—1029、1030—1031、1032—1033、1034—1035、1036—1037、1038—1039、1040—1041、1042—1043、1044—1045、1046—1047、1048—1049、1050—1051、1052—1053、1054—1055、1056—1057、1058—1059、1060—1061、1062—1063、1064—1065、1066—1067、1068—1069、1070—1071、1072—1073、1074—1075、1076—1077、1078—1079、1080—1081、1082—1083、1084—1085、1086—1087、1088—1089、1090—1091、1092—1093、1094—1095、1096—1097、1098—1099、1100—1101、1102—1103、1104—1105、1106—1107、1108—1109、1110—1111、1112—1113、1114—1115、1116—1117、1118—1119、1120—1121、1122—1123、1124—1125、1126—1127、1128—1129、1130—1131、1132—1133、1134—1135、1136—1137、1138—1139、1140—1141、1142—1143、1144—1145、1146—1147、1148—1149、1150—1151、1152—1153、1154—1155、1156—1157、1158—1159、1160—1161、1162—1163、1164—1165、1166—1167、1168—1169、1170—1171、1172—1173、1174—1175、1176—1177、1178—1179、1180—1181、1182—1183、1184—1185、1186—1187、1188—1189、1190—1191、1192—1193、1194—1195、1196—1197、1198—1199、1200—1201、1202—1203、1204—1205、1206—1207、1208—1209、1210—1211、1212—1213、1214—1215、1216—1217、1218—1219、1220—1221、1222—1223、1224—1225、1226—1227、1228—1229、1230—1231、1232—1233、1234—1235、1236—1237、1238—1239、1240—1241、1242—1243、1244—1245、1246—1247、1248—1249、1250—1251、1252—1253、1254—1255、1256—1257、1258—1259、1260—1261、1262—1263、1264—1265、1266—1267、1268—1269、1270—1271、1272—1273、1274—1275、1276—1277、1278—1279、1280—1281、1282—1283、1284—1285、1286—1287、1288—1289、1290—1291、1292—1293、1294—1295、1296—1297、1298—1299、1300—1301、1302—1303、1304—1305、1306—1307、1308—1309、1310—1311、1312—1313、1314—1315、1316—1317、1318—1319、1320—1321、1322—1323、1324—1325、1326—1327、1328—1329、1330—1331、1332—1333、1334—1335、1336—1337、1338—1339、1340—1341、1342—1343、1344—1345、1346—1347、1348—1349、1350—1351、1352—1353、1354—1355、1356—1357、1358—1359、1360—1361、1362—1363、1364—1365、1366—1367、1368—1369、1370—1371、1372—1373、1374—1375、1376—1377、1378—1379、1380—1381、1382—1383、1384—1385、1386—1387、1388—1389、1390—1391、1392—1393、1394—1395、1396—1397、1398—1399、1400—1401、1402—1403、1404—1405、1406—1407、1408—1409、1410—1411、1412—1413、1414—1415、1416—1417、1418—1419、1420—1421、1422—1423、1424—1425、1426—1427、1428—1429、1430—1431、1432—1433、1434—1435、1436—1437、1438—1439、1440—1441、1442—1443、1444—1445、1446—1447、1448—1449、1450—1451、1452—1453、1454—1455、1456—1457、1458—1459、1460—1461、1462—1463、1464—1465、1466—1467、1468—1469、1470—1471、1472—1473、1474—1475、1476—1477、1478—1479、1480—1481、1482—1483、1484—1485、1486—1487、1488—1489、1490—1491、1492—1493、1494—1495、1496—1497、1498—1499、1500—1501、1502—1503、1504—1505、1506—1507、1508—1509、1510—1511、1512—1513、1514—1515、1516—1517、1518—1519、1520—1521、1522—1523、1524—1525、1526—1527、1528—1529、1530—1531、1532—1533、1534—1535、1536—1537、1538—1539、1540—1541、1542—1543、1544—1545、1546—1547、1548—1549、1550—1551、1552—1553、1554—1555、1556—1557、1558—1559、1560—1561、1562—1563、1564—1565、1566—1567、1568—1569、1570—1571、1572—1573、1574—1575、1576—1577、1578—1579、1580—1581、1582—1583、1584—1585、1586—1587、1588—1589、1590—1591、1592—1593、1594—1595、1596—1597、1598—1599、1600—1601、1602—1603、1604—1605、1606—1607、1608—1609、1610—1611、1612—1613、1614—1615、1616—1617、1618—1619、1620—1621、1622—1623、1624—1625、1626—1627、1628—1629、1630—1631、1632—1633、1634—1635、1636—1637、1638—1639、1640—1641、1642—1643、1644—1645、1646—1647、1648—1649、1650—1651、1652—1653、1654—1655、1656—1657、1658—1659、1660—1661、1662—1663、1664—1665、1666—1667、1668—1669、1670—1671、1672—1673、1674—1675、1676—1677、1678—1679、1680—1681、1682—1683、1684—1685、1686—1687、1688—1689、1690—1691、1692—1693、1694—1695、1696—1697、1698—1699、1700—1701、1702—1703、1704—1705、1706—1707、1708—1709、1710—1711、1712—1713、1714—1715、1716—1717、1718—1719、1720—1721、1722—1723、1724—1725、1726—1727、1728—1729、1730—1731、1732—1733、1734—1735、1736—1737、1738—1739、1740—1741、1742—1743、1744—1745、1746—1747、1748—1749、1750—1751、1752—1753、1754—1755、1756—1757、1758—1759、1760—1761、1762—1763、1764—1765、1766—1767、1768—1769、1770—1771、1772—1773、1774—1775、1776—1777、1778—1779、1780—1781、1782—1783、1784—1785、1786—1787、1788—1789、1790—1791、1792—1793、1794—1795、1796—1797、1798—1799、1800—1801、1802—1803、1804—1805、1806—1807、1808—1809、1810—1811、1812—1813、1814—1815、1816—1817、1818—1819、1820—1821、1822—1823、1824—1825、1826—1827、1828—1829、1830—1831、1832—1833、1834—1835、1836—1837、1838—1839、1840—1841、1842—1843、1844—1845、1846—1847、1848—1849、1850—1851、1852—1853、1854—1855、1856—1857、1858—1859、1860—1861、1862—1863、1864—1865、1866—1867、1868—1869、1870—1871、1872—1873、1874—1875、1876—1877、1878—1879、1880—1881、1882—1883、1884—1885、1886—1887、1888—1889、1890—1891、1892—1893、1894—1895、1896—1897、1898—1899、1900—1901、1902—1903、1904—1905、1906—1907、1908—1909、1910—1911、1912—1913、1914—1915、1916—1917、1918—1919、1920—1921、1922—1923、1924—1925、1926—1927、1928—1929、1930—1931、1932—1933、1934—1935、1936—1937、1938—1939、1940—1941、1942—1943、1944—1945、1946—1947、1948—1949、1950—1951、1952—1953、1954—1955、1956—1957、1958—1959、1960—1961、1962—1963、1964—1965、1966—1967、1968—1969、1970—1971、1972—1973、1974—1975、1976—1977、1978—1979、1980—1981、1982—1983、1984—1985、1986—1987、1988—1989、1990—1991、1992—1993、1994—1995、1996—1997、1998—1999、2000—2001、2002—2003、2004—2005、2006—2007、2008—2009、2010—2011、2012—2013、2014—2015、2016—2017、2018—2019、2020—2021、2022—2023、2024—2025、2026—2027、2028—2029、2030—2031、2032—2033、2034—2035、2036—2037、2038—2039、2040—2041、2042—2043、2044—2045、2046—2047、2048—2049、2050—2051、2052—2053、2054—2055、2056—2057、2058—2059、2060—2061、2062—2063、2064—2065、2066—2067、2068—2069、2070—2071、2072—2073、2074—2075、2076—2077、2078—2079、2080—2081、2082—2083、2084—2085、2086—2087、2088—2089、2090—2091、2092—2093、2094—2095、2096—2097、2098—2099、2100—2101、2102—2103、2104—2105、2106—2107、2108—2109、2110—2111、2112—2113、2114—2115、2116—2117、2118—2119、2120—2121、2122—2123、2124—2125、2126—2127、2128—2129、2130—2131、2132—2133、2134—2135、2136—2137、2138—2139、2140—2141、2142—2143、2144—2145、2146—2147、2148—2149、2150—2151、2152—2153、2154—2155、2156—2157、2158—2159、2160—2161、2162—2163、2164—2165、2166—2167、2168—2169、2170—2171、2172—2173、2174—2175、2176—2177、2178—2179、2180—2181、2182—2183、2184—2185、2186—2187、2188—2189、2190—2191、2192—2193、2194—2195、2196—2197、2198—2199、2200—2201、2202—2203、2204—2205、2206—2207、2208—2209、2210—2211、2212—2213、2214—2215、2216—2217、2218—2219、2220—2221、2222—2223、2224—2225、2226—2227、2228—2229、2230—2231、2232—2233、2234—2235、2236—2237、2238—2239、2240—2241、2242—2243、2244—2245、2246—2247、2248—2249、2250—2251、2252—2253、2254—2255、2256—2257、2258—2259、2260—2261、2262—2263、2264—2265、2266—2267、2268—2269、2270—2271、2272—2273、2274—2275、2276—2277、2278—2279、2280—2281、2282—2283、2284—2285、2286—2287、2288—2289、2290—2291、2292—2293、2294—2295、2296—2297、2298—2299、2300—2301、2302—2303、2304—2305、2306—2307、2308—2309、2310—2311、2312—2313、2314—2315、2316—2317、2318—2319、2320—2321、2322—2323、2324—2325、2326—2327、2328—2329、2330—2331、2332—2333、2334—2335、2336—2337、2338—2339、2340—2341、2342—2343、2344—2345、2346—2347、2348—2349、2350—2351、2352—2353、2354—2355、2356—2357、2358—2359、2360—2361、2362—2363、2364—2365、2366—2367、2368—2369、2370—2371、2372—2373、2374—2375、2376—2377、2378—2379、2380—2381、2382—2383、2384—2385、2386—2387、2388—2389、2390—2391、2392—2393、2394—2395、2396—2397、2398—2399、2400—2401、2402—2403、2404—2405、2406—2407、2408—2409、2410—2411、2412—2413、2414—2415、2416—2417、2418—2419、2420—2421、2422—2423、2424—2425、2426—2427、2428—2429、2430—2431、2432—2433、2434—2435、2436—2437、2438—2439、2440—2441、2442—2443、2444—2445、2446—2447、2448—2449、2450—2451、2452—2453、2454—2455、2456—2457、2458—2459、2460—2461、2462—2463、2464—2465、2466—2467、2468—2469、2470—2471、2472—2473、2474—2475、2476—2477、2478—2479、2480—2481、2482—2483、2484—2485、2486—2487、2488—2489、2490—2491、2492—2493、2494—2495、2496—2497、2498—2499、2500—2501、2502—2503、2504—2505、2506—2507、2508—2509、2510—2511、2512—2513、2514—2515、2516—2517、2518—2519、2520—2521、2522—2523、2524—2525、2526—2527、2528—2529、2530—2531、2532—2533、2534—2535、2536—2537、2538—2539、2540—2541、2542—2543、2544—2545、2546—2547、2548—2549、2550—2551、2552—2553、2554—2555、2556—2557、2558—2559、2560—2561、2562—2563、2564—2565、2566—2567、2568—2569、2570—2571、2572—2573、2574—2575、2576—2577、2578—2579、2580—2581、2582—2583、2584—2585、2586—2587、2588—2589、2590—2591、2592—2593、2594—2595、2596—2597、2598—2599、2600—2601、2602—2603、2604—2605、2606—2607、2608—2609、2610—2611、2612—2613、2614—2615、2616—2617、2618—2619、2620—2621、2622—2623、2624—2625、2626—2627、2628—2629、2630—2631、2632—2633、2634—2635、2636—2637、2638—2639、2640—2641、2642—2643、2644—2645、2646—2647、2648—2649、2650—2651、2652—2653、2654—26

(四〇六)

南亞戰爭 ..... 五  
 南下政策 ..... 五、一〇、一六、三〇、三二

ニ

ニツプム ..... 一四三  
 ニツケル鋼砲 ..... 一五四  
 ニュンメルヒ ..... 三五七—三五九  
 日英艦隊 ..... 二六一、二八二  
 日英同盟 ..... 二七七、二七八、三四八  
 日清戰爭 ..... 二九、二八五、二八六  
 日本軍 ..... 一三九—一四三  
 日本陸軍 ..... 二六五  
 新西蘭軍 ..... 三〇六  
 日露戰爭 ..... 四、九〇—九二、一四三、一六四、  
 一七四、二八六、三八、三四九  
 日露協商 ..... 二六  
 二國標準主義 ..... 三四九

二年兵役制 ..... 一〇八

ノイプライザツハ要塞 ..... 四六  
 ノウオ・ゲオルギエフスク要塞 ..... 二四九、二五〇  
 農民 ..... 九〇、九二

【八行】ハ

ハプスブルク王朝 ..... 二二七  
 パラヒシノ・カルノー六連發銃 ..... 一五三  
 パルチツク艦隊 ..... 三九、三五六、三六三、三七〇  
 パルチツクの制海權 ..... 一七七  
 パンジュ銃 ..... 一三〇  
 巴威里國軍 ..... 三〇、三一、四一  
 巴爾幹戰爭 ..... 二九、四四、四五、四九、一五八、一五〇  
 巴爾幹第一次戰爭 ..... 八  
 巴爾幹第二次戰爭 ..... 九、三〇

巴爾幹諸邦 ..... 二五九、三〇、三四  
 巴爾幹縱斷政策 ..... 二五九  
 巴爾幹の盟主 ..... 三四二  
 巴里要塞 ..... 二七八、二〇、二三  
 排獨主義論 ..... 三六八  
 排武主義 ..... 一〇四  
 排武社會主義 ..... 一四  
 背後連絡線 ..... 三二  
 爆裂彈 ..... 四  
 白國軍 ..... 三三—三九  
 白國人 ..... 三五  
 白國の中立 ..... 一六四、一七三  
 函館要塞 ..... 一四三  
 匈牙利語 ..... 六四

ヒ

ビスマルク砲臺 ..... 二八〇  
 ヒンデアルク軍 ..... 二四五  
 飛行機 ..... 二八三  
 飛行機隊の大擴張 ..... 四一  
 必任義務 ..... 二八  
 非武人 ..... 九八、一〇〇  
 祕密動員 ..... 一七、三六  
 廣島灣要塞 ..... 一四三

フ

フオーク軍 ..... 一九八  
 フカレスト條約 ..... 九、二〇  
 フラマン ..... 二五  
 フリザニツク設堡陣 ..... 二四四  
 フリュツヘル ..... 三六五  
 プリンツ・アダルベルト ..... 三七一

(四〇八)

ブルツェミスル要塞……………三、二五  
 プルトウスク要塞……………八六  
 プレガルニツク師團……………二九  
 プレスラウ……………二六八、三五九、三六三  
 プレスト・リトースク要塞……………八七  
 プレツセン停車場……………二二三  
 プロスクロワ要塞……………八八  
 回々教徒……………一五八、二九〇、二九一、三二三  
 芬蘭人……………九〇  
 普埃戰爭……………一、三三五  
 普佛戰爭……………二〇、二六二、二七一  
 普國軍隊……………三三、四三  
 普國の勃興……………二四  
 佛軍……………二五、四六、一六六、一七九、一七八、一八〇、一八四、  
 一八五、一八七、一九七、一九九、二〇一、二〇六、二二三、  
 二七六、三〇七  
 佛英軍……………一九〇、一九五、一九七、一九九、二〇一、二〇五、二七五

佛軍の素質……………一三三  
 佛軍の作戰計畫……………一六七—一七三  
 佛民族……………二五  
 佛國軍……………九三—二八  
 佛國人……………二四、二五、二八、二七〇  
 佛國の人口……………一〇一、二六  
 佛國の海軍……………三四九、三五二、三五五  
 佛國艦隊……………三六〇  
 佛國公報……………一九三  
 佛國飛行界……………四  
 佛國の國防……………一七一、二七二  
 佛國東方要塞線……………二六二  
 佛國侵入軍……………一八三  
 佛國兵家……………一七一  
 佛國議會……………九五  
 佛國の男子……………一〇〇、一一一

(四〇九)

「富國」……………二四  
 腹橋頭要塞……………一八二、一三六  
 副防禦……………一九九  
 武装的中立……………三四  
 分派堡……………八五、八七  
 ベームエルモリ軍……………二四一  
 ベリサグリエー聯隊……………一五一  
 ベルダン銃……………一三〇  
 ベルフオール要塞……………一〇六  
 兵役……………三六、七九、一〇〇、二二、一三八、一三三、一  
 四一、一四一、一五一、一七〇、一五八  
 兵器……………四七、六二、七三、八八、一〇九、二五五、  
 一三〇、一三七、一四八、一五三、一五九  
 兵卒……………九一、一六、一七  
 兵員上の總資源……………五、六〇

平時團體……………七、四二、八二、一〇四、一三三、一九九、  
 一三五、一四二、一四五、一五三、一五八  
 平時兵力……………四二、七一、八四、一〇五、一三五、一四六  
 白耳義軍……………一九二、一九四  
 伯林會議……………一六、三五  
 伯林條約……………二  
 ホア人……………五四  
 ボイエン堡壘……………四四  
 ホ、ヘ二州合併……………四、八、一六、三八  
 ホスニア、ヘルツェゴヴィナ人の兵役……………七一  
 ホーゼン要塞……………四五  
 ホーツマウス要塞……………一四、二五  
 ホツチキス銃……………一三八、一四八  
 ホルドー遷都……………二〇一  
 包圍戰法……………一九九

北阿問題 ..... 三七  
 北阿駐屯兵團 ..... 一四  
 北佛戰場 ..... 一〇六  
 補充兵役 ..... 三六、三九、四一、四二  
 補充部隊 ..... 六〇、二六  
 澎湖島要塞 ..... 一四三  
 防楯 ..... 四七  
 勃國軍 ..... 一五、一六〇  
 勃軍 ..... 二六、二七、二四—二七、二七六  
 勃軍の作戰 ..... 三四七  
 奉天の會戰 ..... 三九  
 波蘭語 ..... 六  
 波蘭人 ..... 九〇

【マ行】マ

マインツ要塞 ..... 四

マキシム銃 ..... 二五、三〇、三六、四八、一五九  
 マキシム三脚銃式 ..... 一五  
 マセドニアの豫備兵 ..... 一三  
 マツケツゼン軍 ..... 二四五  
 マルヌ會戰 ..... 一〇一—一〇三、一一三、一一一  
 マンリツヘル五連發銃 ..... 七三、五九  
 舞鶴要塞 ..... 一四三

ミ

ミエレガス要塞 ..... 八六  
 水 ..... 二九六  
 密集部隊 ..... 一三〇  
 民主國 ..... 九四  
 民主國軍 ..... 九四

ム

ムスタフイツク ..... 一四四

ムーズ軍 ..... 一五、一八三  
 メツツ要塞 ..... 四  
 モーゼル五連發銃 ..... 四七、三〇、一三六、一四八  
 モツシン五連發銃 ..... 八八  
 モルトケ砲臺 ..... 二八〇  
 モナスチール師團 ..... 二九  
 モーブーシユ要塞 ..... 一〇八  
 モラヴァ師團 ..... 三九  
 モルトケ ..... 三七〇、三七一  
 モンマウス ..... 三六  
 猛撃 ..... 一六二  
 摩路哥問題 ..... 三三、三九、四〇、三八  
 文盲者 ..... 九一

モ

メ

【ラ行】ラ

ライガン ..... 三六  
 ライシユ人 ..... 九〇  
 ライプツヒ ..... 三五八  
 ライン線 ..... 一六四、一七〇  
 リ .....  
 リエーシユ要塞 ..... 一五—三九、一八二、一八三  
 リエーシユ要塞改闢部隊 ..... 二七  
 リー・エンフィールド連發銃 ..... 一三五  
 リー・エンフィールド・モーゼル連發銃 ..... 二五  
 リトフ人 ..... 九〇  
 リーラナウ號 ..... 三六八  
 リール要塞 ..... 一〇八  
 リュクサンアール ..... 一五〇、一六三、一六六、一八四、一八五  
 陸軍省 ..... 三三、一五六

(四二)

陸軍大臣……………九五、九七、九八、一二一  
 榴彈砲……………四七、四八、一三六、一三八  
 旅順要塞……………一四三  
 獵歩兵大隊……………七四

**ル**

ルシタニア號……………三六七、三六八  
 ルツク要塞……………八七、二四八、二五二  
 ルベル八連發銃……………一〇九  
 羅馬尼亞語……………六五

**レ**

レウア……………一五八  
 レヂフ……………一四四  
 レンベルク要塞……………七三、一三三、一四四  
 レンネンカンブ軍……………一七七、一〇九、二一〇、二一一、二一八  
 聯合軍……………一四九、一〇四—一〇六、二五五、  
 一三〇、一三〇—一三二

聯合艦隊……………三〇二

**ロ**

ロイド汽船……………三六九  
 ロウ軍……………一四六  
 ロウノ要塞……………八七  
 ローザン要塞……………八六  
 ロジスツクズ要塞……………八七  
 ロムザ要塞……………八六

露軍……………二八、一六一、一七三、一七五—一八〇、二〇四—  
 二五九、二七五、二九二—二九四、三三三、三四五

露軍の素質……………八九  
 露軍の作戰計畫……………一七三—一七八  
 露國軍……………七七一、七三  
 露國海軍……………三四九、三五三  
 露國艦隊……………三六一、三六三、三七〇  
 露國公報……………三七〇

露國大使……………二五〇  
 露國產物……………三〇三  
 露國の動員……………一七  
 露國の極東政策……………二八五  
 露西亞人……………九〇、九二  
 露土戰爭……………二  
 露佛同盟……………四、一五、一〇一、一六一  
 露佛英協商……………二五七  
 露天砲臺……………七三  
 六週間現役兵……………一四三  
 盧森堡……………一〇五、一六三、一六六、一八四、一八五  
 倫敦大使會議……………九一八

**【ヤ行】ヤ**

野砲……………四七、七三、八八、一〇九、一三六、一三〇、一三八、一四八  
 野戰軍……………一三六、一五八、一六八、一八二、二三四

野戰軍の配置……………六二  
 野戰工事……………一三〇  
 野戰團隊……………四八、四九、六、一〇九、二六  
 野戰榴彈砲……………一三六、一四八

**ユ**

優勢……………一六二  
 猶太人……………九〇、九三  
 遊動部隊……………七六、七七  
 遊動民兵軍……………一五〇、一五四、一五八

**ヨ**

ヨセフ 公軍……………二四二  
 要塞……………四三、七二、八四、一〇五、一四四、一三五、  
 一四三、一四六、一五三、三〇五

要塞守備軍……………一三八  
 要塞砲兵……………一三五  
 要塞戰……………二〇五

(四一三)

(四一四)

豫備役	六九七、八〇八、二二三、三四、四一
豫備軍團	六〇
豫備部隊	七四、七五
幼年兵	五
揚陸掩護	二六、三一

索 引 終

大正五年一月十八日印刷  
 大正五年一月二十一日發行

現代叢書 歐洲大戰奧附

編輯者 吉野作造

發行兼印刷者 渡邊爲藏

東京市京橋區日吉町

民友社

印刷所

不許複製

發行所

東京市京橋區日吉町  
 振替口座一三一〇〇

民友社







